

平成26年度 第1回安城市環境審議会議事録要旨

日 時	平成26年12月24日(水)午後1時～3時	
場 所	安城市役所西会館2階第36会議室	
出席者	委 員	鳥居会長、竹内恒夫委員、飯尾委員、細井委員、加藤委員、神谷委員、竹内清晴委員、山田委員、杉浦ひろ子委員、石川委員、中島委員
	事務局	市長、新井副市長、環境部長、環境首都推進課長、環境首都推進課課長補佐、環境首都推進課環境保全係長、環境首都推進課職員
次 第	1 委嘱状交付 2 市長あいさつ 3 各委員自己紹介 4 会長及び副会長あいさつ 5 諮問 6 議事 (1) 安城市環境基本計画の改定方針について (2) 平成26年度版 環境基本計画年次報告「安城市環境報告書」について	

1 委嘱状交付

市長より鳥居委員へ交付

2 市長あいさつ

3 各委員自己紹介

4 会長及び副会長あいさつ

会長：鳥居委員

副会長：杉浦朗委員（欠席）

【鳥居会長】

安城は、水も空気もきれいだと言われるが、環境報告書によれば、PM2.5の計測値は基準値を超えている。その原因は、中国から流れてくる空気が問題ではないかとのことである。環境問題は、安城市域の中のものに限った話ではないということ。グローバルな視点も必要である。

5 諮問

市長より鳥居会長へ諮問書を伝達

6 議事

(1) 安城市環境基本計画の改定方針について

【環境首都推進課長】

改定方針について説明。(資料1参照)

【鳥居委員】

審議会の回数は、前回と同じくらいか？

事務局：前回同様である。

【神谷委員】

「住み良いまち」を目指すという視点はないか？

事務局：今の安城市にある課題を解決するという計画にしたい。挙げたキーワード以外のものも課題としてあげていただきたい。

【神谷委員】

今の街路樹のあり方だとかが良いのかとか。グリーンベルトみたいなものを考えるとか。工事を行う際にも環境負荷を考えるなど。そういった視点が欲しい。

事務局：緑化事業、土木事業の先進事例についても盛り込んでいきたい。

【中島委員】

ワークショップに参加したい。

事務局：委員が参加できるか検討する。

【竹内清晴委員】

明治用水はこの地方を潤すものとしてつくられた。しかし、今、農業は縮小傾向にある。将来的には、安城に水が届かなくなっていくのではないかとという危惧がある。市民に、安城市が矢作川の恩恵を受けているというものを見せていかないといけない。水の環境学習館もそういう目的の施設である。今の基本計画には、明治用水というワードがない。

事務局：明治用水の歴史、水源林の重要性については認識している。今後議論の中で具体的な施策について検討し、計画に盛り込んでいきたい。

【竹内清晴委員】

新しいエコ対策は、太陽光が真っ先にあがるが、新しい明治用水会館では地熱利用を行っている。非常にエコだが、費用が高い。こういうものにも補助が出ないか。

事務局：再生可能エネルギーは今後、太陽光から水力・風力・地熱へシフトしていくと考えられるため、提案いただいた内容も今後検討していきたい。

【竹内恒夫委員】

災害が起こっても、大丈夫な街づくり（水循環・自然環境・震災ごみ）という視点が必要。気候変動に対応するための計画を先駆けて作ったらどうか。国は国土強靱化計画といっているが、柔軟に対応できる計画にしては。

エネルギー供給が阻害されることを考えなければならない。対応策としては、分散型のエネルギーが考えられる。小売の自由化もにらみ、アイシン・エイ・ダブリュと組んで、地域で電気の小売を行ったらどうか。

事務局：特にエネルギーセキュリティについては、十分意識していきたい。温暖化対策としてはドラスティックな取り組みが必要と感じている。地域発電所は、地域の企業との連携や先進事例を研究しつつ、検討していきたい。今後も情報提供いただきたい。

【山田委員】

平成13年度に作った目標は今どうなっているのか見えるようにして欲しい。今計画最後の5年になるので整理が必要では。

事務局：過去2回の改定で、体系が大きく変わっている。成果指標も目標も、変わっている。しかし、過去の計画からの進捗は目に見える形で提示したい。

【杉浦ひろ子委員】

最近ようやく、一般市民にも地球温暖化という言葉が浸透してきたが、環境の話は

分かりにくい。一般の市民が加わりやすいようにするべき。

事務局：市民が意識して実践できるようなものを作りたい。作りっぱなしの計画にならないよう、啓発・協働意識の醸成を図るよう努力したい。

【加藤委員】

神社のクヌギの葉っぱを焼却場に持っていつている。堆肥化するなどの対応を市で考えられないか、またはそのような活動をしている団体がいるのであれば、情報も欲しい。安城公園でも堆肥化を行っていたと思うが、結果はどうだったか。

事務局：安城公園は検証できていない。

神谷委員：堆肥化の活動は、篠目桜ほたるの会が実施していたと思う。

【鳥居会長】

市の一人よがりな計画としないためにも、市民に「自分たちが行動できること」を提示していかないといけない。

【飯尾委員】

計画自体はすごく大雑把でもいいと思う。究極は、理想の街をデザインした一枚の絵でもいい。安城に住む人がどういう暮らしをしたいのか、どういう街に住みたいのか、市民の夢を集めてまとめることを前提としたらどうか。

5年後には、街づくりの主役が変わっていると思う。特に子ども（5年後に街づくりの主役になる人）の意見を聞いて作るべきでは。

【鳥居会長】

それでは、議事1については了承とし、各委員から出た意見については、今後の改定に生かしていただくこととしてよろしいか。

（了承）

（2）平成26年度版 環境基本計画年次報告「安城市環境報告書」について

【環境首都推進課課長補佐】

環境報告書及び今年度実施中施策について説明。（資料2参照）

【中島委員】

環境報告書のイラストを見ると川が流れているが、追田悪水がもっと綺麗にならないかといつも考えている。

事務局：川の浄化に必要なのは、下水と合併浄化槽の普及、また家庭での地道な取り組みも必要。啓発やモデル地区の選定といった取り組みを続けていきたい。

竹内清晴委員：正式名称は、追田用悪水。実は、もともと明治用水の設備。浄化には、明治用水の流入が良いが、法的な問題から難しい。明治用水を環境目的で利用する考えもあるのではないか。

【飯尾委員】

安城には、岡田菊次郎という偉人がいる。「環境を語るものは環境をつくれ」で良いのではないか。明治用水と岡田菊次郎をもっと上手く使うべきである。

（以上質問なし）